

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	小児看護学概論	1	30	1年次	7月	木下陽子
授業概要 <p>子どもを家族の中の存在として位置づけ、子どもと家族を中心とし子どもの尊厳を保証することが基本となることを学習する。</p> <p>健康な子どもの成長・発達の特徴を学び、子どもを取り巻く現代の家族や社会の状況を理解し、小児看護の目標と役割について学習する。</p>						
到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと家族の概要や倫理的視点から、小児看護の役割と課題が理解できる。 2. 健康な子どもの成長発達の特徴と、成長・発達を学ぶ意義が理解できる。 3. 小児各期の特徴について理解できる。 4. 家族の特徴と家族アセスメントについて理解できる。 5. 子どもと子どもを取り巻く社会について理解できる。 						
使用教材 テキスト ①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護学総論：医学書院 参考文献等 ①国民衛生の動向：厚生労働統計協会 ②子供・若者白書：内閣府						
評価 筆記試験、レポート						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1.小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目ざすところ (1) 小児看護の特徴 (2) 小児看護の目標と役割 2) 小児と家族の諸統計 (1) 出生と家族 (2) 子どもの死亡 3) 小児看護の変遷 (1) 小児医療、小児看護の変遷 (2) 現代の小児看護 4) 小児看護における倫理 (1) 子どもの権利（児童憲章・子どもの権利条約） (2) 医療現場で起こりやすい問題と看護 5) 小児看護の課題 (1) 疾病構造の変化と小児看護 (2) 社会の変化と小児看護 (3) 小児看護の専門分化					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	小児看護学概論	1	30	1年次	7月	木下陽子
4時間・2回	2.子どもの成長・発達 1) 成長・発達とは (1) 小児看護学における発達論 (2) 成長・発達の進み方 (3) 成長発達に影響する因子 (4) 成長・発達の評価					講義
12時間・6回	3.乳児期の成長発達の特徴 1) 形態的特徴 2) 身体・生理的特徴 3) 感覚・運動機能 4) 知的機能 5) 情緒・社会的機能、コミュニケーション機能 6) 養育および看護 4.幼児期の成長発達の特徴 乳児期 1) ～6) に準じる。 5.学童期の成長発達の特徴 乳児期 1) ～6) に準じる。 7) 学童を取り巻く諸環境 8) 不適応行動、症状 6.思春期・青年期の成長発達の特徴 乳児期 1) ～3) に準じる。 4) 知的・情緒（心理）的、社会的機能 5) 生活の特徴 6) 心理的・社会的適応に関する問題 7) 思春期の看護					講義 グループワーク 発表
4時間・2回	7.看護の特徴とアセスメント 1) 子どもにとっての家族とは 2) 家族アセスメント					講義
3時間・2回	8.子どもを取り巻く社会 1) 児童福祉（児童福祉法・児童虐待の防止に関する法律） 2) 母子保健（母子保健法・健やか親子 21） 3) 医療費の支援（未熟児養育医療・小児慢性特定疾病医療費助成・自立支援医療） 4) 予防接種（予防接種法・感染症法） 5) 学校保健（学校保健安全法） 6) 特別支援教育					講義
1時間・1回	筆記試験					
備考						

